

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課			
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり		主管課長	豊田 武彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館の利用者	意図	福祉会館を最適な状態で使用してもらう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全15福祉会館の通年開館を実施している。 ・公共施設予約システムの導入により自宅のパソコンで使用申請から許可までが可能となっている。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・全15福祉会館の通年開館を実施している。 ・福祉会館利用者が安心・安全、有意義に施設を利用できるよう維持管理を行う。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	総合的な満足度の割合	98.50	97.63	99.09	%	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・15館中、市直営が4館、指定管理者制度導入施設が11館である。 ・直営4館についても順次指定管理者制度を導入していく。（平成30年度から向小金福祉会館が指定管理者制度を導入。） ・突発的な小破修繕件数28件 ・施設満足度調査における意見・要望については、対応内容を各館に貼りだしている。
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	38,837,860	39,585,635	39,060,644	
事業費(b)(円)	35,072,860	34,970,635	34,514,644	
うち一般財源	34,386,690	34,465,799	33,942,023	
職員給与費(c)(円)	3,765,000	4,615,000	4,546,000	
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50	
人役・再任用(人)		0.50	0.50	
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市民サービスを下げることなく経費の削減を行う。	③取組の課題	市民サービスが低下することのないよう、市民の立場に立って施設の維持管理を実施する。
②今年度(H29)に実施した取組	市民サービスを下げることなく経費の削減を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	市民サービスを下げることなく経費の削減を行っていく。